

- 29) 前川和也, 辻村恭憲: 介護食品・食器具紹介, 食支援. 2017年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2017年8月22日.
- 30) 白石 成, 船山さおり: 摂食嚥下の訓練, 食支援. 2017年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2017年8月8日.
- 31) 辻村恭憲: 摂食嚥下器官の解剖と生理, 第1回新潟ST摂食嚥下懇話会, 新潟ふれ愛プラザ (新潟県・新潟市), 2017年7月23日.
- 32) 辻村恭憲: 安全に一步進む食支援を目指して, 国立病院機構新潟病院 (新潟県・柏崎市), 2017年7月15日.
- 33) 鈴木 拓, 辻 光順: 摂食嚥下の仕組み, 食支援. 2017年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2017年7月11日.
- 34) 船山さおり, 伊藤加代子: 口腔乾燥症、味覚障害. 2017年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2017年6月27日.
- 35) 伊藤加代子: 明日から使える口腔乾燥症診療のポイント, 北海道歯科衛生士会旭川支部研修会, 旭川歯科医師会館 (北海道・旭川市), 2017年6月23日.
- 36) 井上 誠: 高齢者の嚥下障害に対する取り組み. FOOMA JAPAN 2017 アカデミックプラザ, 東京ビックサイト (東京都・江東区), 2017年6月14日.
- 37) 新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野: 超高齢社会を支える食品評価と開発に向けて. FOOMA JAPAN 2017 アカデミックプラザ, 東京ビックサイト (東京都・江東区), 2017年6月13-16日.
- 38) 辻 光順, 那小屋公太: 口腔ケア. 2017年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2017年6月13日.
- 39) 伊藤加代子: もう一度見直そう, 口腔乾燥症の診断と治療, 新潟県歯科医師会会員向けセミナー, 新潟県歯科医師会館 (新潟県・新潟市), 2017年6月8日.
- 40) 辻 光順, 前川和也: 介護食品・食器具紹介, 食支援. 2017年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2017年5月23日.
- 41) 白石 成, 前川和也: 摂食嚥下の訓練, 食支援. 2017年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2017年4月25日.
- 42) 辻村恭憲, 那小屋公太: 摂食嚥下の仕組み, 食支援. 2017年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2017年4月11日.

【論文】

- 1) Saito K, Ohshima H: Differentiation capacity and maintenance of dental pulp stem/progenitor cells in the process of pulpal healing following tooth injuries. *J Oral Biosci* 59(2): 63-70, 2017.
- 2) Ohshima H: Oral biosciences: The annual review 2017. *J Oral Biosci* 60(1): 1-7, 2018.
- 3) Makishi S, Saito K, Ohshima H: Osteopontin-deficiency disturbs direct osteogenesis in the process of achieving osseointegration following immediate placement of endosseous implants. *Clin Implant Dent Relat Res* 19(3): 496-504, 2017.
- 4) Murakami T, Saitoh I, Sato M, Inada E, Soda M, Oda M, Domon H, Iwase Y, Sawami T, Matsueda K, Terao Y, Ohshima H, Noguchi H, Hayasaki H: Isolation and characterization of lymphoid enhancer factor-1-positive deciduous dental pulp stem-like cells after transfection with a piggyBac vector containing LEF1 promoter-driven selection markers. *Arch Oral Biol* 81:110-120, 2017.
- 5) Iwamoto T, Nakamura T, Ishikawa M, Yoshizaki K, Sugimoto A, Ida-Yonemochi H, Ohshima H, Saito M, Yamada Y, Fukumoto S: Pannexin 3 regulates proliferation and differentiation of odontoblasts via its hemichannel activities. *PLoS One*. 12(5):e0177557, 2017.
- 6) Ishikawa Y, Nakatomi M, Ida-Yonemochi H, Ohshima H: Quiescent adult stem cells in murine teeth are regulated by Shh signaling. *Cell Tissue Res* 369(3): 497-512, 2017.
- 7) Ohkura M, Ohkura N, Yoshiba N, Yoshiba K, Ida-Yonemochi H, Ohshima H, Saito I, Okiji T: Orthodontic force application upregulated pain-associated prostaglandin-I2/PGI2-receptor/TRPV1 pathway-related gene expression in rat molars. *Odontology* 106(1): 2-10, 2018.
- 8) Seino Y, Takano Y, Ohshima H: Positional and ultrastructural changes in peripheral pulp capillaries correlate with the active phase of dentin deposit and mineralization in rat molars. *J Oral Biosci* 59(3): 163-171, 2017.
- 9) Ohkura N, Edanami N, Takeuchi R, Tohma A, Ohkura M, Yoshiba N, Yoshiba K, Ida-Yonemochi H, Ohshima H, Okiji T, Noiri Y: Effects of pulpotomy using mineral trioxide aggregate on prostaglandin transporter and receptors in rat molars. *Sci Rep* 7(1): 6870, 2017.

- 10) Nakaki T, Nakakura-Ohshima K, Nakagawa E, Ishikawa Y, Saito K, Ida-Yonemochi H, Ohshima H: Donor-host tissue interaction in the allogenic transplanted tooth germ with special reference to periodontal tissue. *J Oral Biosci* 60(1): 21-30, 2018.
- 11) Nakatomi M, Quispe-Salcedo A, Sakaguchi M, Ida-Yonemochi H, Okano H, Ohshima H: Nestin expression is differently regulated between odontoblasts and the subodontoblastic layer in mice. *Histochem Cell Biol*. 149(4): 383-391, 2018.

【商業誌等】

- 1) 大島勇人, 江副幸子, 上田 実, 澤 芳樹: (GUEST EDITORIAL) 再生療法新時代: 正確な知識と安心・安全な歯科再生医療に向けて, *ザ・クインテッセンス* 36(4): 47-48, 2017.
- 2) 大島勇人: *HYORON FORUM 歯学の行方: 歯科における再生医療の行方*, *日本歯科評論* 77(7): 11-13, 2017.

【研究費獲得】

- 1) 大島勇人, 下村淳子, 山本 格, 大津圭史, 依田浩子: プロテオミクス解析を応用した歯髄前駆細胞/静的幹細胞の恒常性維持と活性化の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 17H04366, 2017.
- 2) 斎藤浩太郎: SIBLING タンパクを介した修復象牙質形成機構の解明と誘導法確立への展開. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究(B), 17K17082, 2017.
- 3) 大島邦子, 大島勇人ほか: 歯胚移植を応用した歯根膜静的幹細胞の恒常性維持機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」, 17K11953, 2017.
- 4) 興地隆史, 大島勇人ほか: ラット歯髄組織再生モデルを用いた再生過程の解析: 幹細胞分化促進因子の探索. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 17H04380, 2017.
- 5) 石川裕子, 斎藤浩太郎, 依田浩子, 大島勇人ほか: 歯の発生過程における Shh シグナルによる静的幹細胞維持機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 17K11730, 2017.
- 6) 武藤徳子, 大島勇人ほか: 感染歯髄への MTA 直接覆髄後のデンティンブリッジ形成機構の解明と OPN の役割. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 15K11136, 2017.
- 7) 柴田俊一, 依田浩子ほか: 歯胚形成におけるヒアルロン酸の発現と機能に関する研究. 日本学術振興会

- 科学研究費補助金 基盤研究(C), 15K11005, 2017.
- 8) 高野吉郎, 大島勇人ほか: 歯根象牙質を介した外向きドラッグデリバリーによる新たな歯周組織再生スキームの構築. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 16K11458, 2017.
- 9) 大島勇人, 佐藤雅彦, 高見寿子: 解剖学模型の開発. 平成 29 年度共同研究, 2017.
- 10) 大島勇人: 平成 29 年度科研費応募支援 [萌芽], 2017.
- 11) 大島勇人: 平成 29 年度大学院生特別支援経費, 2017.
- 12) 依田浩子: 糖尿病が顎顔面発育に及ぼす影響の解明. TSOD (肥満・糖尿病) マウス研究会研究助成 J16G0231, 2017.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 大島勇人: 外的侵襲後の歯髄修復メカニズムと再生医学への展開, 第 17 回日本外傷歯学会総会・学術大会 シンポジウム: 歯科領域における再生医療技術の最前線, 名古屋, 2017 年 7 月 8-9 日.
- 2) 大島勇人: 臨床医に役立つマクロ解剖学—口腔底と上顎洞の血管・神経損傷リスクの考察—, 平成 29 年度新潟大学歯学部同窓会首都圏セミナー, 東京, 2017 年 8 月 20 日.
- 3) 大島勇人: 歯の外的侵襲後の歯髄修復機構と歯髄幹細胞の特性. 第 59 回歯科基礎医学会学術大会日韓シンポジウム「The control of odontoblast differentiation and dentin-pulp complex formation」, 塩尻, 2017 年 9 月 16-18 日. *J Oral Biosci Suppl* 2017, p.61, 2017.
- 4) 大島勇人: エナメル質形成におけるケラチン研究最前線. 第 59 回歯科基礎医学会学術大会メインシンポジウム「エナメル質研究の新規展開: エナメル質形成におけるケラチンの役割」, 塩尻, 2017 年 9 月 16-18 日. *J Oral Biosci Suppl* 2017, p.89, 2017.
- 5) 大島勇人: 若手研究者のための Author Workshop: 学術論文作成の基本と効率的な PubMed 文献検索法, End-Note や Mendeley を活用した文献データ管理法について. 第 59 回歯科基礎医学会学術大会ランチョンセミナー (主催: エルゼビア・ジャパン株式会社), 塩尻, 2017 年 9 月 16-18 日. *J Oral Biosci Suppl* 2017, p.102, 2017.
- 6) 依田浩子: 歯髄細胞の再生医療への応用. 第 29 回新潟妙高会, 新潟, 2017 年 11 月 11 日.
- 7) 大島勇人: 電子線マイクロアナライザー (EPMA) の生物医学研究への応用. 第 1 回共用設備基盤センターシンポジウム, 新潟, 2018 年 1 月 23 日.
- 8) Ida-Yonemochi H: Role of glucose metabolism in dental

and craniofacial development. Collaborative Symposium University of Indonesia - Niigata University. International Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, ジャカルタ, 2018年2月11-13日.

【学会発表】

- 1) 清野雄多, 中富満城, 依田浩子, 大島勇人: 組織連続切片三次元構築法と BrdU ラベリングによるモルモット臼歯 apical bud の観察. 第 59 回歯科基礎医学学会学術大会, 塩尻, 2017年9月16-18日. J Oral Biosci Suppl 2017, p. 222&272, 2017.
- 2) 真喜志佐奈子, 大島勇人: 前・後上歯槽管/溝内を走行する上歯槽神経の分布パターン. 第 59 回歯科基礎医学学会学術大会, 塩尻, 2017年9月16-18日. J Oral Biosci Suppl 2017, p. 268, 2017.
- 3) 斎藤浩太郎, 大島勇人: 歯の発生・創傷治癒過程における歯髓恒常性維持に関わる IGF binding protein 5 の役割. 第 59 回歯科基礎医学学会学術大会, 塩尻, 2017年9月16-18日. J Oral Biosci Suppl 2017, p. 318, 2017.
- 4) 依田浩子, 大津圭史, 原田英光, 大島勇人: 歯の形成過程における AMP-activated protein kinase (AMPK) の発現と機能. 第 59 回歯科基礎医学学会学術大会, 塩尻, 2017年9月16-18日. J Oral Biosci Suppl 2017, p. 432, 2017.
- 5) 中木哲朗, 大島邦子, 石川裕子, 斎藤浩太郎, 依田浩子, 大島勇人: 他家歯胚移植におけるドナー・ホスト相互作用: 歯周組織に着目して. 平成 29 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2017年11月11日. 新潟歯学会雑誌 47(2): **, 2017.
- 6) 左右田美樹, 齊藤一誠, 村上智哉, 松枝一成, 岩瀬陽子, 澤味 規, 大島勇人, 早崎治明: リプログラミング因子の一過的強制発現は乳歯培養歯髓細胞の幹細胞化を誘導し、その多分化能を増強させる. 平成 29 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2017年11月11日. 新潟歯学会雑誌 47(2): **, 2017.
- 7) 大津圭史, 依田浩子, 藤原尚樹, 大島勇人, 原田英光: 酸素濃度依存的 Sox2-RhoA シグナルによるエナメル上皮幹細胞制御機構. 第 40 回日本分子生物学会年会, 神戸, 2017年12月6-9日.
- 8) 高見寿子, 佐藤 昇, 大島勇人: 頬筋と M. malaris が他の口裂周囲筋へ及ぼす影響. 第 123 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 武蔵野, 2018年3月28-30日, 第 123 回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集, p. 117, 2018.
- 9) 清野雄多, 依田浩子, 中富満城, 大島勇人: Sox2 免疫組織化学と組織連続切片三次元構築法による

モルモット臼歯 apical bud の観察. 第 123 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 武蔵野, 2018年3月28-30日, 第 123 回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集, p. 122, 2018.

- 10) 真喜志佐奈子, 斎藤浩太郎, 山崎智彦, 大島 勇人: Direct osteogenesis is promoted by Osteopontin protein coated on the implant surface. 第 123 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 武蔵野, 2018年3月28-30日, 第 123 回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集, p. 124, 2018.
- 11) 大津圭史, 依田浩子, 藤原尚樹, 大島勇人, 原田英光: 組織内酸素濃度応答性 RhoA-Sox2 シグナルによるエナメル上皮幹細胞制御. 第 123 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 武蔵野, 2018年3月28-30日, 第 123 回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集, p. 134, 2018.
- 12) 依田浩子, 滝澤 舞, 大島勇人: マウス歯髓発生・再生過程におけるグリコーゲン代謝機構. 第 123 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 武蔵野, 2018年3月28-30日, 第 123 回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集, p. 167, 2018.

【研究会発表】

- 1) 大島勇人, 真喜志佐奈子, 田中みか子: 上歯槽神経の走向と歯の知覚を考察する. 第 41 回味の会 (形態学セミナー), 那須町, 2017年7月28日.
- 2) 堀米洋二, 依田浩子, 和栗 聡, 遠藤直人, 小松雅明: 軟骨細胞の発生・分化におけるオートファジーの役割. 第 17 回 Niigata Bone Research Conference, 新潟市, 2017年8月25日.
- 3) Saito K: The origin and turnover of the junctional epithelium. フロンティアミーティング in 新潟 (新潟大学主催), 新潟, 2018年2月10日.
- 4) Ohshima H: Subodontoblastic layer reconsidered: its role for pulpal healing after tooth injuries. フロンティアミーティング in 新潟 (新潟大学主催), 新潟, 2018年2月10日.
- 5) 依田浩子: 糖尿病が口腔組織発育・恒常性維持に及ぼす影響. 第 12 回 TSOD マウス研究会, つくば市, 2018年3月16日.

【その他】

- 1) Ohshima H : Editor-in-Chief, Journal of Oral Biosciences
- 2) Ohshima H: Advisory Editor, Dental Materials Journal
- 3) Ohshima H: Section Editor, Regenerative Therapy
- 4) Ohshima H: Editorial Board, Frontiers in Physiology
- 5) Ida-Yonemochi H: Editorial Board, Frontiers in

Physiology

- 6) 大島勇人：平成 29 年度 SCRP 日本代表選抜大会審査員，東京，2017 年 8 月 18 日。
- 7) 大島勇人：平成 29 年度歯学系 CBT 問題評価・プール化小委員会
- 8) 大島勇人：平成 29 年度一般社団法人日本保健情報コンソシウム再生医療倫理委員会（細胞療法）委員
- 9) 依田浩子：文部科学省 科学技術専門調査員
- 10) 上田 実，大島勇人：(企画) 日本再生医療学会特別シンポジウム「開業医が進める再生医療：歯科再生医療を中心に」：(座長) 上田 実，大島勇人，1. 吉江弘正『歯周組織再生療法の現状と導入』，2. 春日井昇平『我が国におけるインプラント治療と、インプラントに関連した再生医療のガラパゴス化』，3. 古川和親『再生医療サポート保険（自由診療）について』，4. 井上 肇『末梢血を利用した現実的再生医療技術の普及』，5. 上田 実『培養上清を使った歯槽骨の再生』，6. 江副幸子『開業医に必要な再生医療教育』，東京，2017 年 5 月 14 日。
- 11) 大島勇人：象牙質・歯髄複合体の発生と再生，鶴見大学歯学部特別講義，2017 年 6 月 17 日。
- 12) 大島勇人：(企画) 第 22 回産学連携フォーラム（歯科再生医療産学連携会議主催），名古屋，2017 年 6 月 30 日。
- 13) 大島勇人：エンドドンティクス．神奈川歯科大学特別講義，横須賀，2017 年 9 月 5 日。
- 14) 大島勇人，山城 隆：(座長) 第 59 回歯科基礎医学会学術大会日韓シンポジウム「The control of odontoblast differentiation and dentin-pulp complex formation」：1. 大島勇人『歯の外的侵襲後の歯髄修復機構と歯髄幹細胞の特性』，2. Joo-Cheol Park『Role of CPNE7 in odontoblast differentiation and dentin formation』，3. Reuben H. Kim『Calcium signaling in odontogenic differentiation and reparative dentin regeneration』，4. 山城隆『象牙芽細胞分化と Wnt シグナリング—新たな象牙質の再生療法を目指して—』，第 59 回歯科基礎医学会学術大会，塩尻，2017 年 9 月 16-18 日。J Oral Biosci Suppl 2017, p.61-64, 2017.
- 15) 細矢明宏，大島勇人：(企画) 第 17 回歯科基礎医学会学術大会メインシンポジウム「エナメル質研究の新規展開：エナメル質形成におけるセラチンの役割」：(座長) 細矢明宏，大島勇人，1. 大島勇人『エナメル質形成におけるセラチン研究最前線』，2. 山越康雄，千葉理紗子，山本竜司，齊藤まり，唐木田丈夫，西川純雄『エナメル質形成過程に見出されるセラチン 75 について』，3. 久家貴寿，佐々木光穂，鈴木 治，中山祐治，朝長毅，山岸伸行『FAM83H はセラチン細胞骨格を制御することでエナメル芽細胞維持に働く』，4. 中富満城『Msx2 遺伝子は外エナメル上皮の角化重層扁平上皮化を抑制する』，5. 齋藤 幹，福本 敏『Sox21 はエナメル芽細胞分化と角化上皮化抑制に重要な役割を担う』，第 59 回歯科基礎医学会学術大会，塩尻，2017 年 9 月 16-18 日。J Oral Biosci Suppl 2017, p.89-93, 2017.
- 16) 大島勇人：組織学の研究法．新潟大学医学部保健学科特別講義，新潟，2017 年 10 月 31 日。
- 17) 大島勇人：象牙質・歯髄複合体の発生と再生，北海道大学歯学部特別講義，2017 年 11 月 24 日。
- 18) 大島勇人：(企画) 第 23 回産学連携フォーラム（歯科再生医療産学連携会議主催），京都，2017 年 12 月 15 日。
- 19) 大島勇人：由来と分化能から歯髄の生物学的特性を考える．東京医科歯科大学大学院特別セミナー，東京，2018 年 3 月 1 日。
- 20) 本田雅規，大島勇人：(企画) 第 17 回日本再生医療学会総会シンポジウム「歯科再生医療推進ネットワーク協議会主催シンポジウム Vol. 2: 歯科再生医療の実用化そして普遍化に向けた取り組み」：(座長) 本田雅規，大島勇人，1. 畠 賢一郎『歯科再生医療ビジネスモデルを考える（仮題）』，2. 浅野武夫『再生医療実用化研究事業と歯科再生医療』，3. 土屋 周平『骨髄由来間葉系細胞による顎骨再生療法の評価と臨床展開』，4. 中田 光『開業医レベルに歯科再生医療を普及するための取り組み』，第 17 回日本再生医療学会総会，東京，2018 年 3 月 21-23 日。

口腔病理学分野

【著 書】

- 1) 田沼順一：新口腔病理学(下野正基 他編)，1-357 頁，医歯薬出版，東京，2018.
- 2) 田沼順一：口腔病理アトラス 第 3 版(高田 隆 他編)，89-108 頁，医歯薬出版，東京，2018.
- 3) 丸山 智：口腔病理アトラス 第 3 版(高田 隆 他編)，139-141, 147 頁，文光堂，東京，2018.

【論 文】

- 1) Abé T, Maruyama S, Yamazaki M, Xu B, Babkair H, Sumita Y, Cheng J, Yamamoto T, Saku T: Proteomic and histopathological characterization of the interface between oral squamous cell carcinoma invasion fronts and non-cancerous epithelia. Exp Mol Pathol 102 (2): 327-336, 2017.